

レモンの生産拡大とブランド化を目指して（伊東市）

R6.12.23訪問



お名前	喜ゑ門フルーツ 永井 正人さん（53歳）
就農した時期	2023年（就農2年目）
栽培品目	柑橘類（レモン、みかん）
栽培面積	1.5ha
販路	JA、ネット販売
働き手	本人

（写真：ご本人提供）



▲ 喜ゑ門フルーツのレモンを使ったメニュー
写真上：「高丸カレー」
（spice curry高丸）
写真下：「チーズケーキ」
（チャップストックガーデン）

■ 就農したきっかけ

会社勤めをしていましたが、定年以降も働ける職業を検討した結果、農業を営むことを決意しました。

■ 活用した支援策等

「果樹経営支援対策事業」を活用しました。

■ 工夫していること

化学農薬と化学肥料の低減に取り組んでおり、除草剤は使用していません。また、流通に係る中間経費を削減し収益を確保するために、会社勤務時代の営業経験を活かし外食店などへ販路開拓をしています。

■ 今後取り組みたいこと

今後はレモンの栽培面積を増やすとともに、JAふじ伊豆が取組んでいるレモンの生産拡大とブランド化に協力していきたいと思います。

■ 新規就農を目指す人に伝えたいこと

新規就農するためには、ある程度の資金と体力が必要です。また、条件が良い農地の確保や販路の確保も重要になります。地元出身者でないと土地勘が乏しかったり人間関係が薄かったりするため、苦労することがあるかもしれませんが、そんな時は行政やJA、指導農家を頼って相談すれば良いと思います。自分の立てた計画通りに行かないこともあります。農地を確保する際にはその農地に対する収益を考えながら就農してもらいたいです。